Form No. 3423-128 Rev B

電源ハーネス キット

Groundsmaster® 4500-D, 4700-D および Reelmaster® 7000-D トラクションユニット用

モデル番号138-2995

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	–	バッテリーの接続を外します。
3	必要なパーツはありません。	–	フードを開ける。
4	電源ハーネス ケーブルタイ	1 6	電源ハーネスを配設します。
5	必要なパーツはありません。	–	バッテリーを接続します。
6	必要なパーツはありません。	–	バッテリールームのドアおよびフードを閉じます。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

⚠ 注意

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでもエンジンを始動させることができ、危険である。

整備・調整作業の前には必ず始動キーを抜いておくこと。

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カッティングユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。

2

バッテリーの接続を外す

必要なパーツはありません。

バッテリーへのアクセス

バッテリールームのラッチを外してドアを開く図 1。

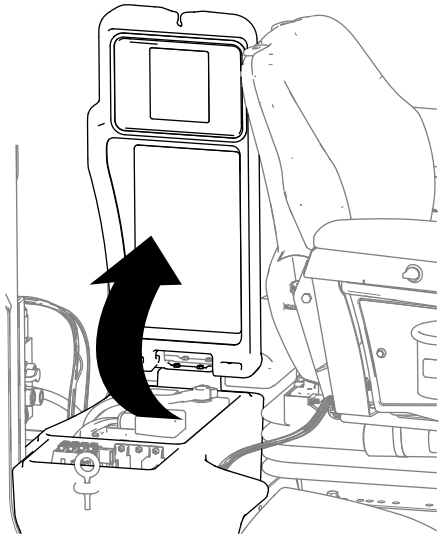
© 2018—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3423-128 B



g252593

図 1

バッテリーケーブルを外す

⚠ 警告

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

- **バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属を接触させないように注意する。**
- **バッテリーの端子と金属を接触させない。**
- **バッテリーは必ずストラップ固定具でしっかりと固定しておく。**

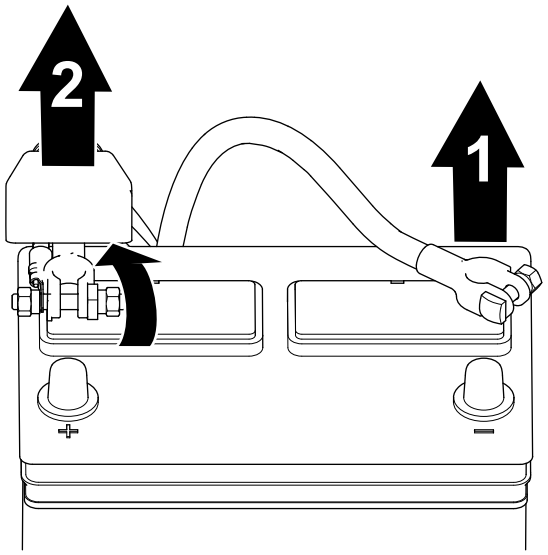
⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- **ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外す。**
- **ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。**

1. バッテリー端子から、マイナスケーブルを外す 図 2。



g252591

図 2

1. マイナスケーブル
2. プラスケーブル

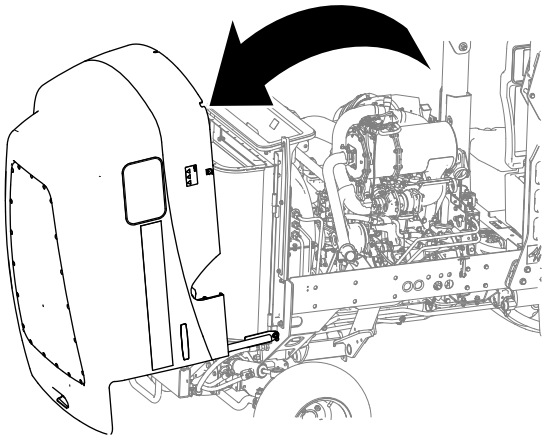
2. バッテリーのプラスケーブルについている絶縁カバーを外して、プラスケーブルをバッテリーから外す 図 2。

3 フードを開ける

必要なパーツはありません。

手順

ラッチを外してフードを開ける 図 3。



g252594

図 3

4

電源ハーネスの配設と接続を行う

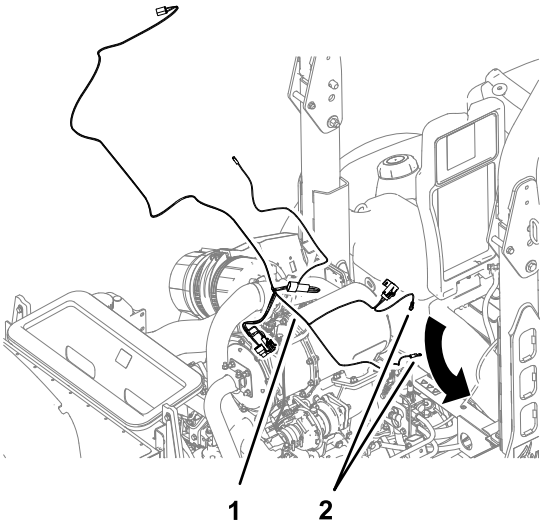
この作業に必要なパーツ

1	電源ハーネス
6	ケーブルタイ

バッテリーと関連機器にリング端子を配設する

重要 **ハーネスは排気系統や可動部から十分に離して配設してください。**

1. 電源ハーネスのリング端子2 個を、バッテリールームの下側を通す図 4 または 図 5。

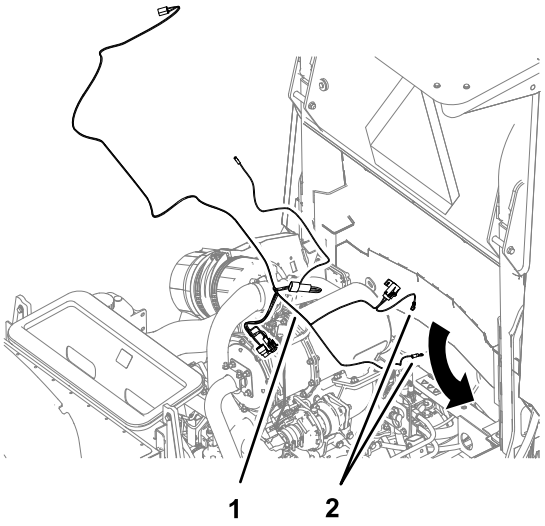


g252785

図 4

キャブなしの車両

1. 電源ハーネス
2. リング端子



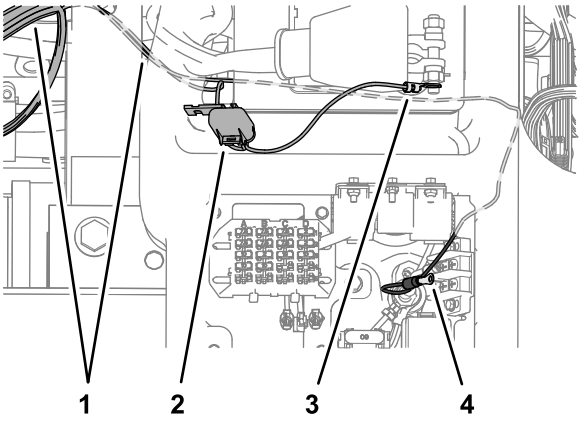
g252784

図 5

キャブ付きの車両

1. 電源ハーネス
2. リング端子

2. 電源ハーネスのリング端子のうち、B+ というラベルのついている端子を、バッテリールームの車両外方側後部にある穴に通す図 6。



g252791

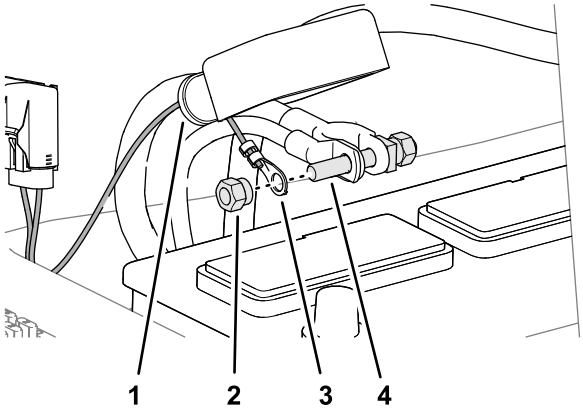
図 6

1. 電源ハーネス
2. ヒューズ10 Aとヒューズホルダー
3. リング端子B+
4. リング端子 — 電源ハーネスGROUND BLOCK

3. 電源ハーネスのリング端子のうち、GROUND BLOCK というラベルのついている端子を、バッテリールーム下を通して、車両内方側前部近くにある穴に通す図 6。

リング端子をバッテリーケーブルとアースブロックに組み付ける

1. バッテリークランプのボルトからナットを外す図 14。

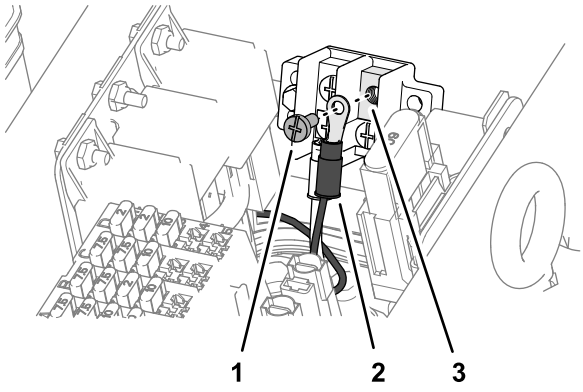


g252790

図 7

1. 碍子
2. バッテリークランプのナット
3. リング端子B+
4. バッテリークランプ用ボルトプラスケーブル用

2. リング端子B+を、バッテリークランプのボルトに取り付け、クランプナットを取り付けて手締めする図 7。
3. アースブロックのねじを外す図 8。



g252789

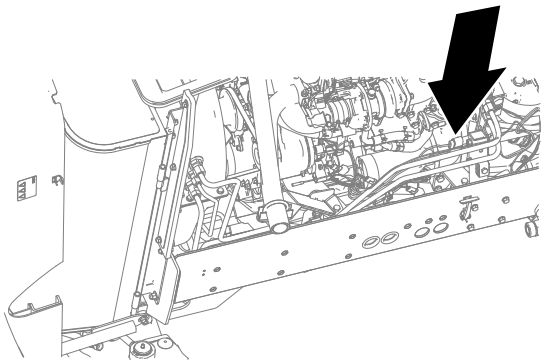
図 8

1. ねじ
2. リング端子 — 電源ハーネスGROUND BLOCK
3. アース端子ブロック

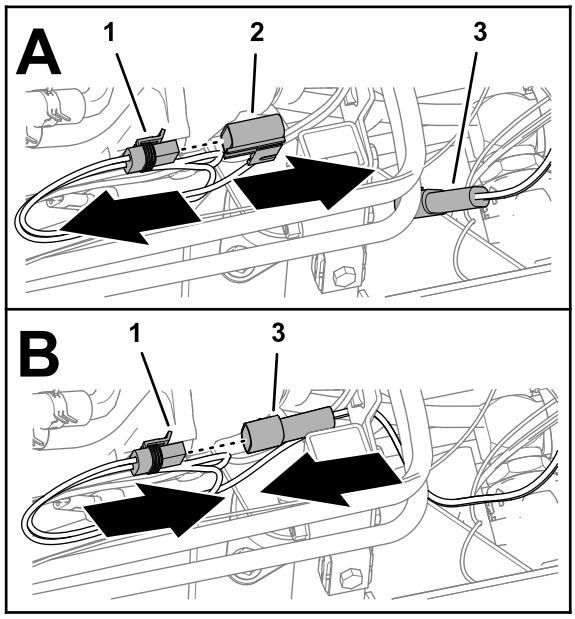
4. リング端子GROUND BLOCKを、アースブロックにねじ止めして、手締めする図 8。

電源ハーネスを車両のハーネスに接続する

1. 車両のワイヤハーネスのうち 2 ピンコネクタラベルは CAB HARNESSについているキャップを外す図 9。



g252787



g252788

図 9

1. 2 ピンコネクタ車両のワイヤハーネスCAB HARNESS
2. キャップ
3. 2 ソケットコネクタ電源ハーネスMAIN HARNESS

2. 車両のワイヤハーネスの 2 ピンコネクタを、電源ハーネスの 2 ソケットコネクタラベルは MAIN HARNESSに接続する図 9。
3. ケーブルタイで電源ハーネスを車体フレームに固定する図 10。

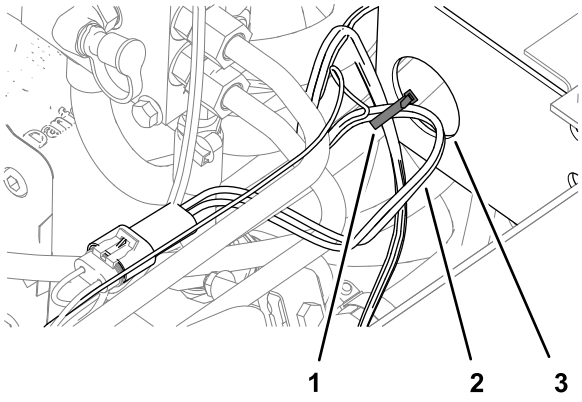


図 10

1. ケーブルタイ
2. 電源ハーネス
3. 機体のフレーム

電源ハーネスをオプションのサンシェードまたは 柱式 ROPS 用延長ハーネスに接続する

電源ハーネスの 2 ソケットコネクタラベルは CAB HARNESSを、サンシェードのワイヤハーネスの 2 ピンコネクタに接続する図 11 。

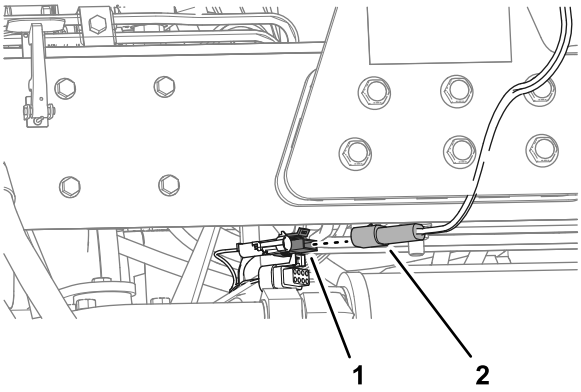


図 11

1. 2 ソケットコネクタ電源ハーネスCAB HARNESS
2. 2 ピンコネクタサンシェードのワイヤハーネス

エアコンの配線とウォーターポンプの配線をまとめる

オプションのサンシェードキットまたは 柱式 ROPS 用延長キットを取り付けている車両

1. ハーネスコードのうち A/C CLUTCH というラベルと弾丸形端子がついているものと、WATER PUMP というラベルのついている ソケットコネクタをまとめる図 12 。

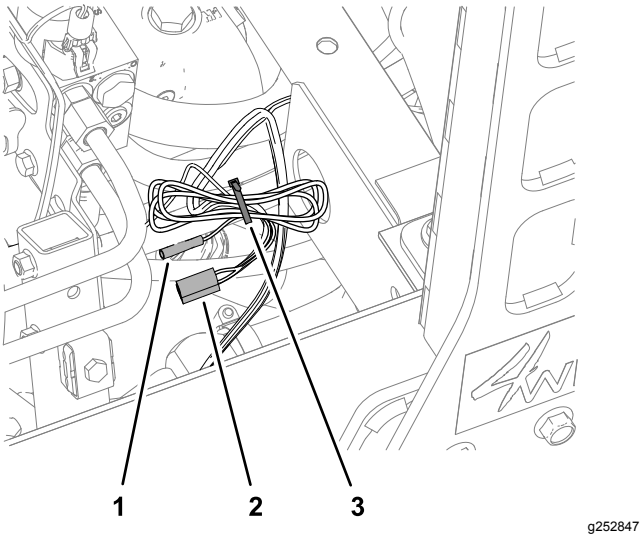


図 12

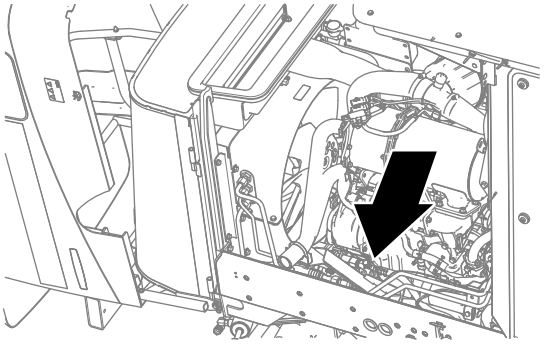
1. コードと弾丸形端子A/C CLUTCH
2. コードと 2 ソケットコネクタ WATER PUMP
3. ケーブルタイ

2. まとめたコードを、ケーブルタイで車両に固定する図 12 。

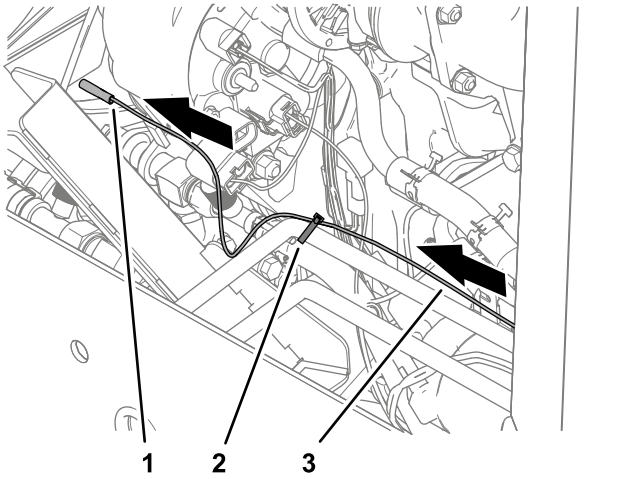
エアコンの配線とウォーターポンプのラインの配設を行う

オプションのキャブキットを搭載している車両

1. A/C CLUTCH というラベルの付いたコードと弾丸形端子を、エンジンの右側に沿って車両後方へ導く図 13。



g252841

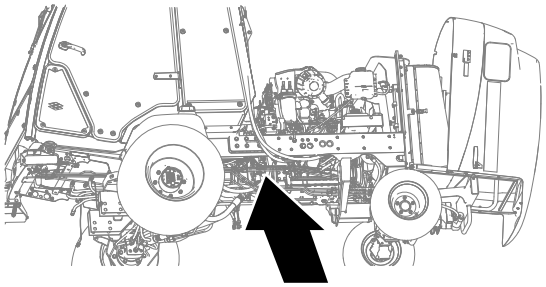


g252842

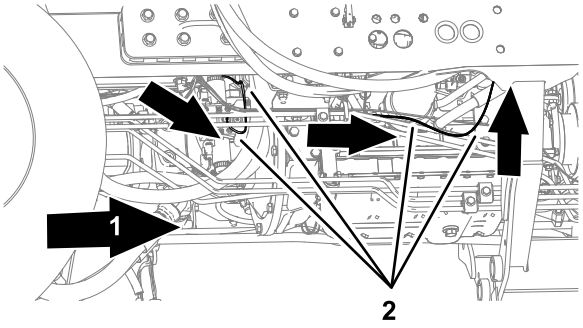
図 13

1. 弾丸形端子
2. ケーブルタイ
3. コードA/C CLUTCH

2. コードを、ケーブルタイでチューブに固定する図 13。
3. WATER PUMP というラベルのついた ソケットコネクタを、エンジンの前側を横切って車両後方へ導く図 14。



g252845

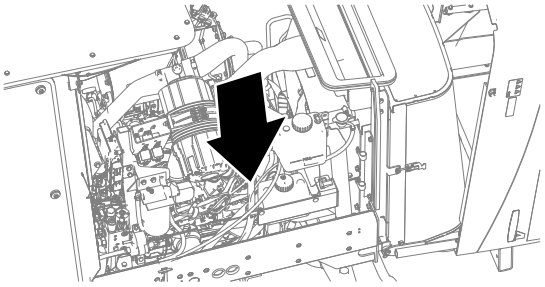


g252843

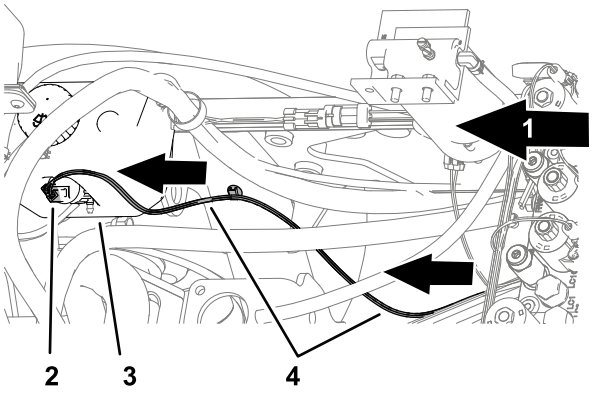
図 14

1. 機体後方
2. ウォーターポンプのコード電源ハーネス

4. 2 ソケットコネクタのついたコードを、ウォッシャー液タンクへ導く図 15。



g252844



g252846

図 15

1. 機体後方
2. 2 ソケットコネクタWATER PUMP
3. ウォッシャー液タンク
4. 電源ハーネス

5. 電源ハーネスのウォーターポンプコードを、図 16 と 図 17 に示す位置で油圧ホースとチューブに固定する。

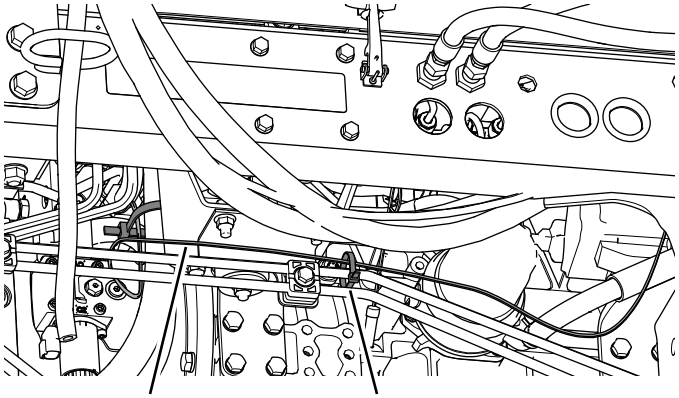


図 16

1. 電源ハーネス　　2. ケーブルタイ

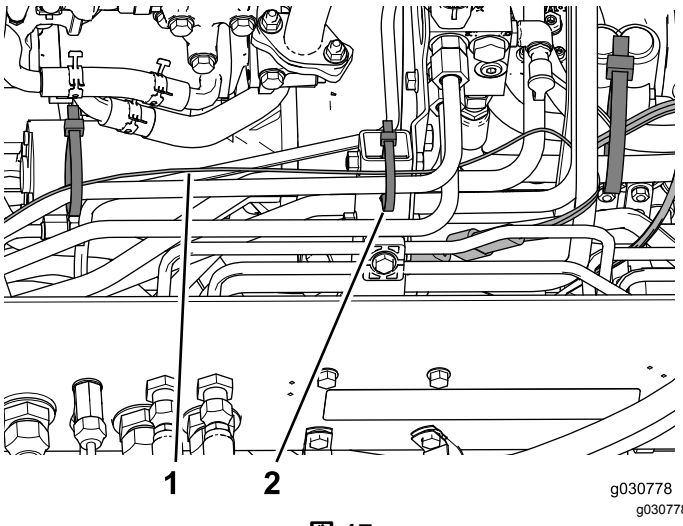


図 17

1. 電源ハーネス　　2. ケーブルタイ

6. キャブキットの *取り付け要領書*に従って、エアコンのコネクタとウォーターポンプのコネクタの接続を行う。

5

バッテリーを接続する

必要なパーツはありません。

手順

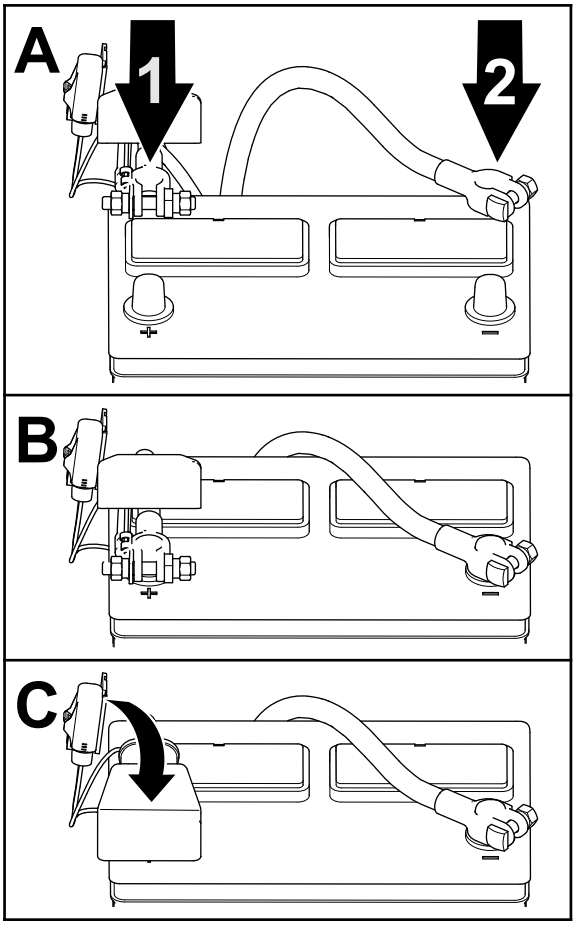
⚠ 警告

配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続手順が不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- **ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外す。**
- **ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。**

1. プラス+ケーブルをバッテリーに接続し、クランプナットで接続する図 18。



g252786

図 18

1. プラスケーブル
2. マイナスケーブル

2. マイナス-ケーブルをバッテリに接続し、クランプナットで接続する図 18。
3. バッテリーのプラス端子に絶縁カバーを取り付ける図 18。

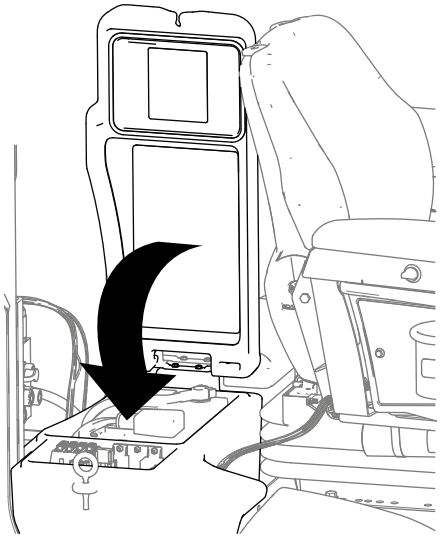
6

バッテリールームのドアおよびフードを閉じる

必要なパーツはありません。

手順

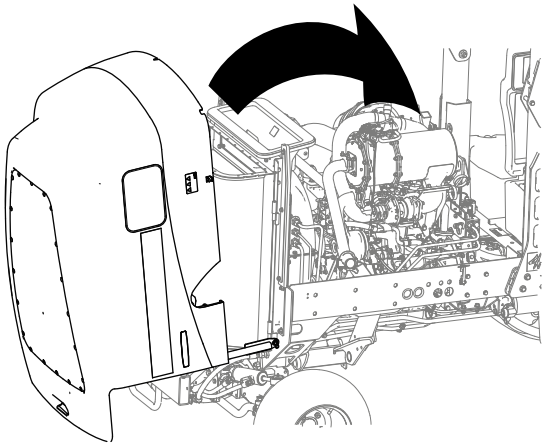
1. バッテリールームのドアにラッチを掛ける図 19。



g252850

図 19

2. フードを閉じてラッチを掛ける図 20。



g252851

図 20